

# 今後の経済財政運営について (金融物価集中審議説明資料)

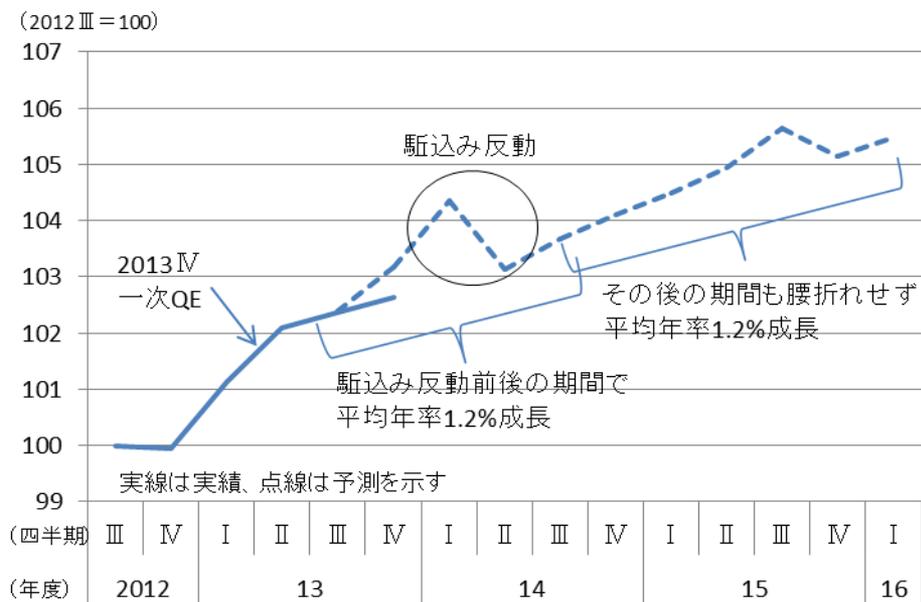
平成26年2月20日

伊藤 元重  
小林 喜光  
佐々木 則夫  
高橋 進

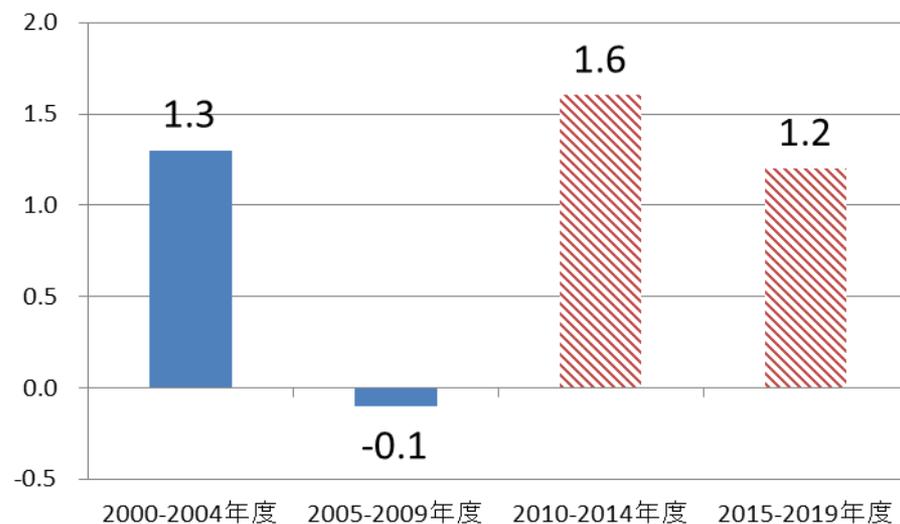
# 1. 民間の経済予測

- 消費税率引上げによる駆け込み需要(2014年1-3月期)とその反動減(4-6月期)が生じた後、7-9月期には成長経路に戻るとの民間予測。これら民間予測では、駆け込み需要及びその反動減の大きさは、四半期ベースでそれぞれ1兆円前後の規模になると想定されている。
- 民間の中期的な成長率予測(2015~2019年度)は、実質1.2%にとどまっている。

実質GDP水準の予測



中期的な実質成長率予測



(参考)実質成長率予測

	2014年度	2015年度
○民間予測(ESPフォーキャスト)	0.8%	1.4%
○政府経済見通し・中長期試算	1.4%	1.7%
○日本銀行	1.4%	1.5%

(参考)

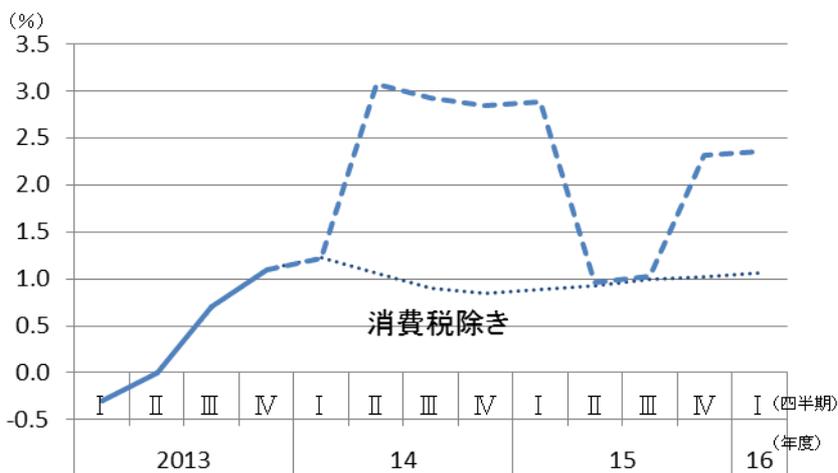
○1年前の2012年12月予測では、2014-2018年度の平均で1.1%成長と予測

(備考)左図は日本経済研究センター『ESPフォーキャスト』2014年2月調査、右図は同2013年12月調査特別調査に基づく。左図の点線は2013年Ⅲ二次QE後の予測であり、2013Ⅳ一次QEとは連続していない。「日本銀行」は、『当面の金融政策運営について』(2014年1月22日日本銀行)における「政策委員の大勢見通し」に基づく。

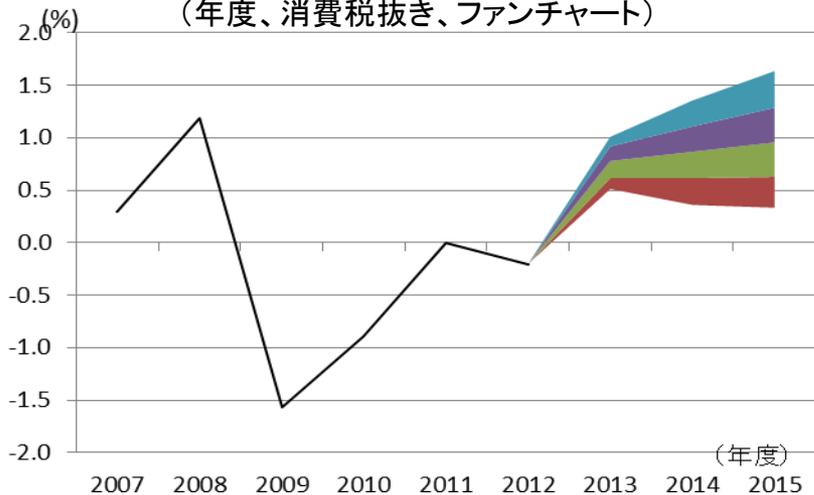
## 2. 民間の物価予測

- 消費者物価上昇率は、明確にプラスに転じたものの、物価安定目標(2%)に達するとの民間予測にはなっていない。
- 過去3~4年はエネルギー(電気・都市ガス、石油製品)のプラス寄与が大きい中で、足元で注目すべきは、需給ギャップの縮小を背景にサービス等の一般的な物価(グラフ中の水色や青)がプラスに転じている点。これにより、生鮮食品・エネルギーを除くCPIコアコアはプラスに転じている。ただし、プラス幅は小幅である。

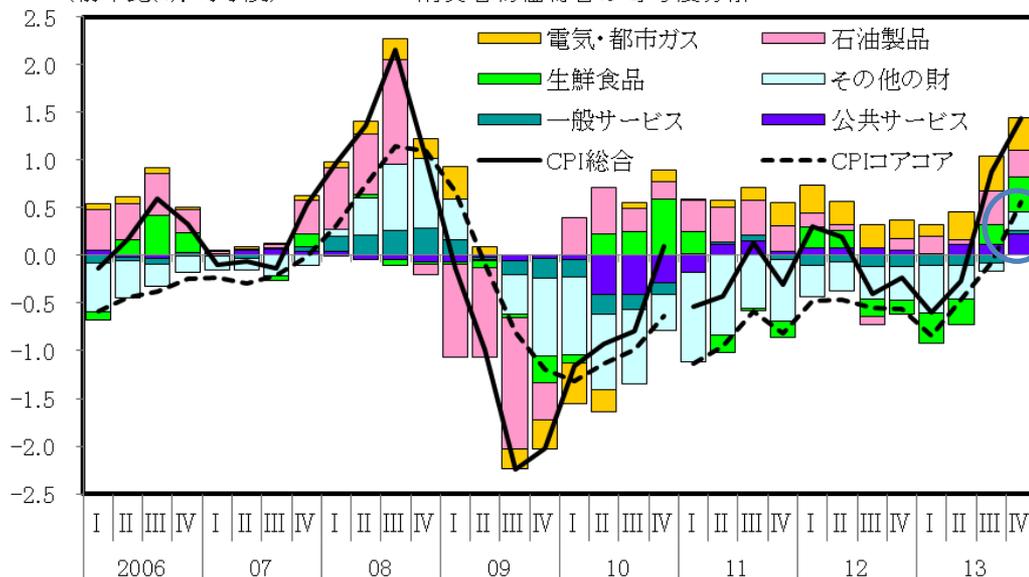
消費者物価(除く生鮮)上昇率予測(四半期)



消費者物価(除く生鮮)上昇率予測  
(年度、消費税抜き、ファンチャート)



(前年比(%), 寄与度) 消費者物価総合の寄与度分解



(参考)CPI上昇率予測(消費税率引上げ分除き)

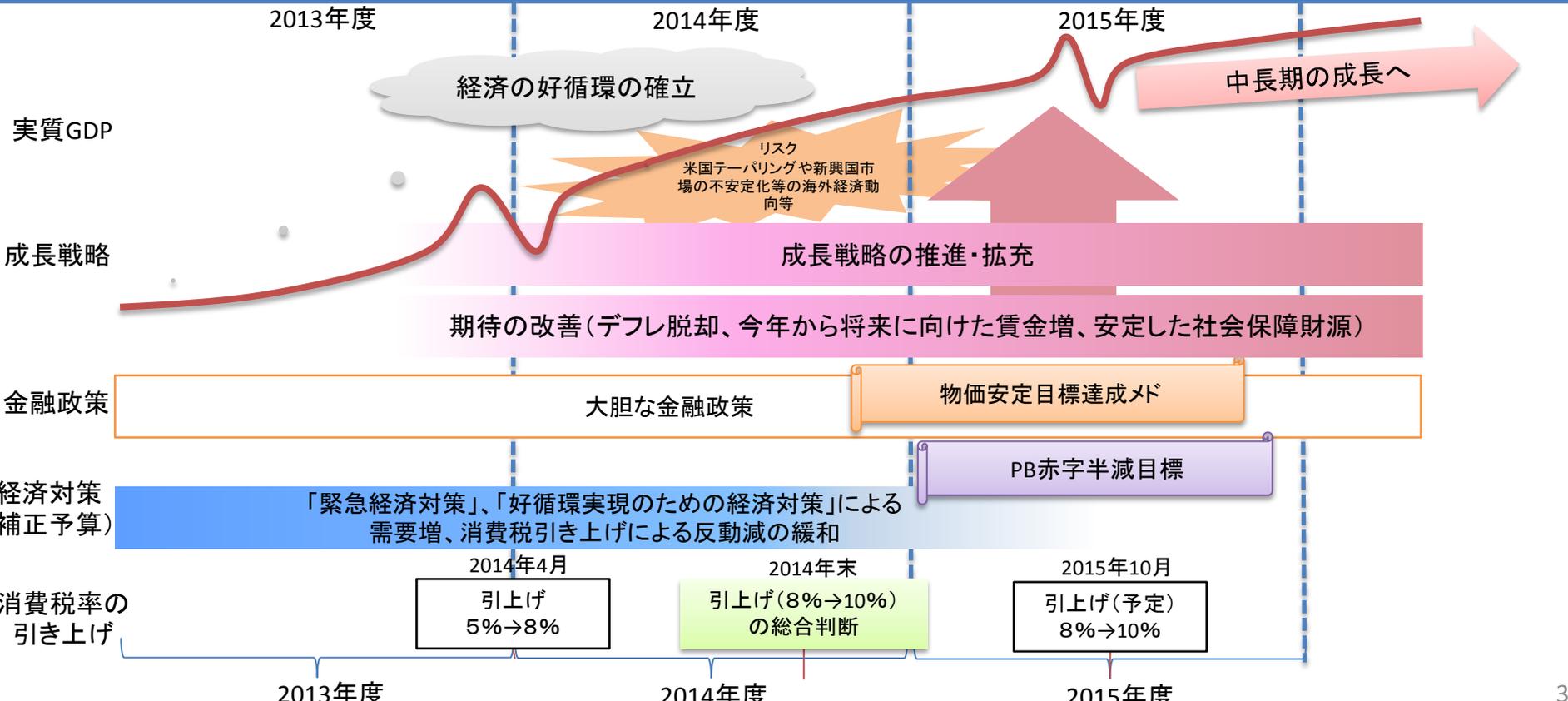
	2014年度	2015年度
○民間予測(ESPフォーキャスト)	0.9%	1.0%
○政府経済見通し・中長期試算	1.2%	1.9%
○日本銀行展望レポート	1.3%	1.9%

(備考)

1. 左図(上、下)は日本経済研究センター『ESPフォーキャスト』(2014年2月調査)に基づく。
2. 左下図の予測値の確率分布のうち、赤は下から10~25%、緑は25~50%、紫は50~75%、水色は75~90%の区間をそれぞれ示す。
3. 右図は、総務省「消費者物価指数」に基づく。

### 3. 今年から来年にかけての経済財政運営のポイント

- **経済財政運営**: 消費税引上げ後の早期の成長経路復帰に向け、政府は予算の執行状況をしっかり検証しつつ、25年度補正・26年度本予算を迅速に執行すべき。また、種々のリスクへの対処を常に念頭に置くべき。
- **財政・金融政策の判断**: 年末の消費税率引上げ(8%→10%)についての判断は極めて重要であり、万全の備えを整えておくべき。その際、金融政策の役割は重要。
- **成長戦略の強化**: 法人税・エネルギー・労働法制といった課題については、法人実効税率の25%への引下げ、安価で安定的なエネルギー供給、多様な正社員の普及・拡大など雇用改革などの成長を確信させる強いコミットメントが必要。さらに、アベノミクスを中長期の成長に結びつけていくため、人口減少への対処、安定した投資の拡大などについて並行して検討を進める。
- **将来期待の改善**: 昨年はアベノミクスによりデフレ予想が修正された。今年は、①足元だけでなく今後も給与が改善していくという期待、②(キャピタルゲインも含め)社会保障の持続可能性の改善による安心効果など、引き続き期待に働きかけることで経済の好循環を確立し、中長期の成長につなげていく必要。



# (参考) 米国の補正予算執行状況の把握例

- 2009年2月、総額約7800億ドルの大型景気刺激パッケージとなるアメリカ再生・再投資法を制定。
- 同法に基づき、再生に関する説明責任と透明性委員会が設立され、同委員会で新たに「Recovery.gov」というウェブサイトを開設。景気刺激策のうち、いくら予算がどの場所でどの事業者を通じて使われているかを、事業受注者からの申告等に基づき四半期ごとに把握し発表。

州や市、郵便番号、事業発注元の官庁名、事業分野名、受注者名、事業種類(財サービスの提供契約、補助事業、融資)、進捗状況(未着手、進行中、完了)、事業費規模で検索できる

State: California | Zip code: | Type:  Contracts  Grants  Loans

County: View All | Cong Dist: View All | Status:  Not Started  In Progress  Completed

Agency: View All | Recipient Name: | Funding: \$0 - \$2.56B

Category: View All | **GO** | Reset All

---

**California** | Total Funds Awarded: \$33,674,892,389 | Total Awards: 22,627 | Jobs by Quarter: 7,203

例. カリフォルニア州  
総額337億ドル、合計22,627件の補助金・事業、事業関連雇用者数13年10～12月期7,203人

List of Awards 751-765 of 22627 Results

Recipients	Award	Details
AMERICAN TANK CO., INC.	\$152,399	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
AMERICAN TECHNOLOGY NETWORK, CORP.	\$5,158	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
AMERICAN UNION ELEMENTARY SCHOOL	\$2,724	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
AMERICAN UNION ELEMENTARY SCHOOL	\$142,243	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
American Welding, Inc.	\$3,221	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
	\$34,332	PROFILE <a href="#">AWARD</a>
	\$73,550	PROFILE <a href="#">AWARD</a>

補助事業等受注事業者名をアルファベット順に表示

## CONTRACTS - AWARD SUMMARY

C3 LIMITED LIABILITY COMPANY  
CONSTRUCTION OF MOHAVE DESERT FIRE STATION  
Clarification Of Codes

Choose a quarter and click "Go."  
April 1 - June 30, 2011 **Go**

### AWARD OVERVIEW

Award Number	L10PD03371	Funding Agency	Departme Interior
Total Award Amount	\$718,769	Project Location - City	PHOENIX
Award Date	06/28/2010	Project Location - State	AZ
Project Status	Completed	Project Location - Zip	85004-44
Jobs Reported	1.85	Congressional District	04
Project Location - Country	US		

例. AMERICAN TANC 社の「AWARD」をクリックすると、指定の四半期ごとに、詳細情報が得られる。  
「モハヴェ砂漠消防署の建設事業  
事業番号 / 事業発注者 内務省  
契約額 72万ドル / フェニックス  
事業状況 完了 / アリゾナ州 等」  
このほかAMERICAN TANC社から二次請負いした業者の詳細情報が続く

(出所) 米国連邦政府ウェブサイト  
www.recovery.gov